

松伏町

SAITAMA

埼玉県

02

来校者から褒められる
トイレは生徒の誇り

松伏町には小学校3校と中学校2校があります。耐震化は100%、大規模改修工事についても中学校1校を除き終了。残る1校も大規模改修の設計段階まで済んでいます。
「トイレ改修方針の大きな軸は、床の乾式化、大便器は全洋式。加えて、排せつの場所から臭い



地域の利用率も高いため メンテナンスを考え、 掃除が楽な大便器を採用

の場所への転換を図り、子どもたちに親しみを持たれる空間を目指すことです」(松伏町新市街地整備課・後藤秀徳副主幹)

同町の体育館は、災害時の避難拠点施設としてはもとより、地域に開かれた学校施設として日頃から地域開放をしています。不特定多数の人が使うことから、特に体育館のトイレについては、『埼玉県福祉のまちづくり条例』に適合するようにバリアフリー化し、スロープ、多機能トイレが設置されています。

2014年3月に大規模改修を終えたばかりの松伏中学校の体育館のトイレは、地域の利用者も多く、使用頻度も高いことから、快適性配慮のために、温水洗浄便座を全ブースに導入。トイレ掃除は生徒たちが行い、常にきれいに保たれています。



左から金澤校長(当時)、田中稔教頭、後藤副主幹。「体育館がきれいになり、地域の利用者も増えています」(田中教頭)。

「乾式化によって掃除がしやすくなりました。練習試合でやってきた他校の生徒や、来校された方から、『きれいなトイレだね』と褒められると、必ず、担任を通して生徒たちにも伝えるようにしています。すると、自分の学校の校舎を誇りに思い、掃除を余計頑張ってもらえる。よいスパイラルになっていきます」(同校・金澤勝幸校長・当時)

松伏町立金杉小学校



温もりを感じる空間にするため、体育館のトイレの壁には県産の木材を多用。多機能トイレの手すりも、視力や平衡感覚の弱い人にもはっきりわかるように目立つ色を採用。



トイレの入口の前には木製のベンチを設置。高齢者も座って待てる。

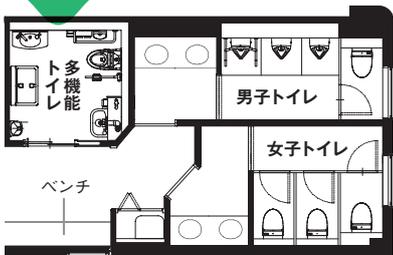


屋根には太陽光発電装置が。館内には避難所を想定し赤外線暖房器も。



同町の改修した体育館は「人にやさしく」を掲げ、温水洗浄便座付き大便器がスタンダード。

体育館
トイレ



～ 改修後 ～

ベンチは男女関係なく使える位置に。多機能トイレはオストメイト用設備、ベビーカー、おむつ交換台も完備。

D A T A

- 竣工年月 / 2012年2月
- 所在地 / 埼玉県松伏町大字大川戸3854

松伏町立松伏中学校



「埼玉県福祉のまちづくり条例」では、学校などの生活関連施設にオストメイト用設備を設けるなど、トイレの整備基準が定められている。松伏中学校もこの基準をクリアしている。



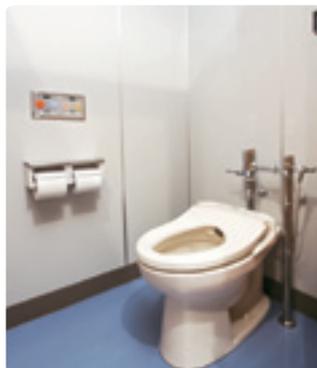
屋根はALC板から鉋板に葺き替えた。



腰の位置まで県産の杉材を使用したトイレ前。



不特定多数の人が使うため、洗面台は自動水栓で衛生面に配慮。ブラウンの天板が木質の空間に調和。



快適性のため温水洗浄便座を採用。操作性のよいリモコンを設置。



廊下からトイレ内までフラット。乾式の床で掃除をしやすく清潔に。

男性用トイレの小便器は壁掛け式で床面の掃除もしやすい。汚れやすい小便器まわりの床は防汚・防臭性の高い陶板を使用。

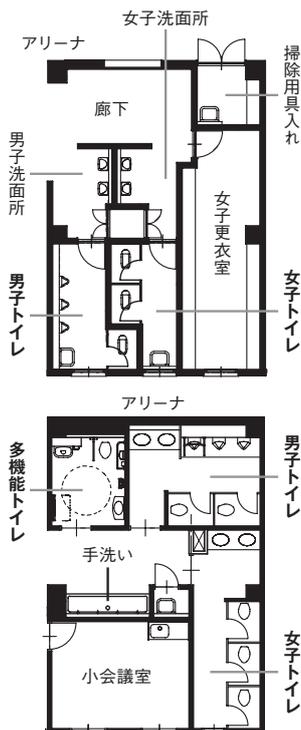
～改修前～

更衣室などがあり、トイレのブースも少なかった。大便器はすべて和式で、床は湿式だったため、臭いがこもりがちだった。

体育館
トイレ

～改修後～

更衣室をなくし、トイレスペースを広げ、洋式化して、多機能トイレも設置。災害時にも使えるよう会議室も設けた。



DATA

- 竣工年月 / 2014年3月
- 所在地 / 埼玉県松伏町大字大川戸1136